

地歴公民科にはたくさんの科目がありますが、そのなかでも人類が誕生してから現在に至るまでの歩みについて学ぶ科目としては、日本とその周辺地域に着目する「**日本史A**」「**日本史B**」、世界のさまざまな地域に着目する「**世界史A**」「**世界史B**」、丸子修学館高校独自の科目として「**日本近現代史研究**」「**世界近現代史研究**」があります。

「**日本史A**」「**世界史A**」は50分授業が週に2回あり、日本、世界の17・18世紀から現在までの歴史に関する基本的なことを学びます。「**日本史B**」「**世界史B**」は50分授業が週に4回あり、日本、世界の石器時代から現在までの歴史をより広く学びます。そして「**日本近現代史研究**」は「**日本史B**」を、「**世界近現代史研究**」は「**世界史B**」を学んだひとが選択する科目で、それぞれ日本、世界の歴史をより深く学びます。

現在生きる私たちを取り巻く社会のあり方を、歴史の視点から探究する、つまり「歴史を学ぶ」のではなく「歴史から学ぶ」意識をもつことを目標としています。

授業を通じて探究する問い

- **金属器**の製造は世界のどこで始まり、いつ日本に伝来したのだろうか？
- 日本の**戦国時代**はいつ、どこから、どのようにして始まったのだろうか？
- **ナポレオン**はどのような人生を生き、どのようにフランスを変えたのだろうか？
- なぜ2回も**世界大戦**がおこってしまったのだろうか？ など

